

<招待講演3>

「英語担当教員研修と英語学習者の動機づけ」

楊 魯新 (中国 北京外国語大学)

【要旨】

本講演では、2年間の北京外国語大学英語教員研修を通し、その英語授業が次第に変容していった2名の英語担当教諭の事例を紹介する。研修ではまず理論と実践のコースワークを受講し、その後現場に戻り、アクション・リサーチと公開授業を実施した。この研修を通じて2名の英語教諭は、それまでの教師中心であった授業を学習者中心の授業へと変容させていった。その結果、生徒は授業外でも英語の短編小説を読み、読んだ内容を元に英語で作文するなどの活動に率先して取り組むようになり、次第に好ましい変化を遂げた。そして生徒の英語語彙力と文法力に顕著な向上が見られるようになり、大学入学試験への好成績を残し、英語学習の動機づけに大きな貢献を果たした。

楊 魯新 (ヤン・ルーシン)

北京外国語大学中国外語教育研究センター教授。専門は応用言語学。とりわけ第二言語ライティング、外国語学習、外国語教師教育及びアカデミックリテラシー教育を研究分野としている。これまで投稿・出版した論文ジャーナルには *Language Awareness*, *Journal of Second Language Writing*, *Language Teaching Research*, *Language, Culture and Curriculum*, *System*, *Journal of English for Academic Purposes* があり、中国国内の専門雑誌では *Basic Foreign Language Education* の主幹編集者を務めるとともに、*Language Teaching Research* の編集委員を務めている。現在、初等・中等教育の授業を視察し、教育理論と実践の橋渡しとしての役割を担う中国国内の「研究員」の現状を調査する国家教育プロジェクトと、中国とカナダの国家プロジェクトである「中加教師教育・学校教育プロジェクト」に参画している。

